

## コンクリートがれき有効利用技術

1. 技術の名称	エコボックスによる擁壁			
2. 有効利用技術の区分				
①処理方法	<input type="checkbox"/> 無処理	<input type="checkbox"/> 分別 <input checked="" type="checkbox"/> 破碎 寸法: <input type="checkbox"/> 300mm以上 <input checked="" type="checkbox"/> 300mm以下 <input checked="" type="checkbox"/> 100mm以下 <input checked="" type="checkbox"/> 40mm以下 <input checked="" type="checkbox"/> 20mm以下 <input type="checkbox"/> その他 破碎方法( <input type="checkbox"/> その他 )		
②用途	<input type="checkbox"/> コンクリート用骨材	<input type="checkbox"/> 盛土材	<input type="checkbox"/> 埋戻し材	<input type="checkbox"/> 路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 中詰め材 )
③その他				

### 3. 技術の内容

### ① 基本的考え方

- ・中空型の箱を積み上げて擁壁を構築することができる技術
  - ・箱内には建設残土、碎石、コンクリート・瓦・レンガ等の再生資材を中詰め材として利用可能

## ②対象とするコンクリートがれき

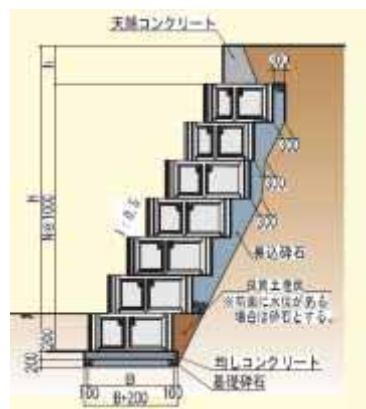
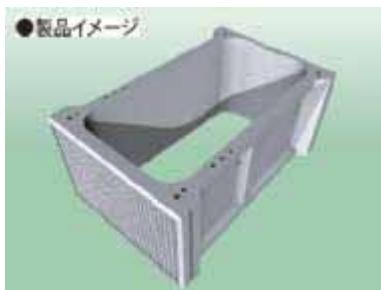
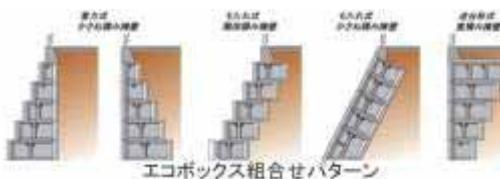
すべてのコンクリートがれきを対象

### ③技術の概要(処理方法、使用材料、機械設備等)

## 中空型コンクリート二次製品

#### ④本技術を活用し、得られた目的物の性状等

- ・本製品は箱型の部材を積み上げ、隣接部に胴込コンクリートを打設することにより、強固に一体化された擁壁とすることが可能。
  - ・ブロックの組み合わせにより擁壁高さを任意に選べ、重力式、もたれ式、緑化型の擁壁を構築。特に中木程度の植栽が可能。
  - ・天端にL型タイプを使用した場合、勾配を自在にとることができ、現場打ちコンクリートが不要となり、工期の短縮が図れる。(工場で任意の寸法にカット)



### 施工断面例(もたれ式階段積み擁壁)

## ⑤利用先・用途(実績等) \* 適用できない場合なども含めて記述

## 道路・河川等の擁壁、砂防・堰堤の護岸擁壁

## 盛土・切土法面の土留め擁壁

#### ⑥特許・技術審査証明・NETIS登録状況等

NETIS登録番号： TH-990073-V

農業農村整備新技術候補 ARIC:No.334

## ⑦コスト

30,000～45,000 円/m<sup>2</sup> (参考)

- ・大型コンクリートブロックより経済性に優れている
  - ・コンクリート・瓦・レンガ等の瓦礫利用でコストダウンが可能



#### 4. 意見等

## 5. 連絡先

会社名 株式会社フジタ	担当者 石村 玄二	所属・役職 建設本部土木エンジニアリングセンター 設計部長
所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2	TEL 03-3796-2299	E-Mail <a href="mailto:ishimura@fujita.co.jp">ishimura@fujita.co.jp</a>